

会 告

◀ 土木学会・その他行事案内 ▶

月 日	行 事	備 考
2月7日(金)	中国四国支部第4回講演会	2号 5ページ参照
2月14日(金)~15日(土)	応力測定展示講習会	12号 4 "
2月15日(土)	土木学会第19回年次学術講演会申込締切	2号 2 "
2月15日(土)	第27回関東地区学生諸君のための映画会	2号 5 "
2月17日(月)	建築鋼ぐい基礎設計施工規準講習会(新潟会場)	2号 5 "
2月19日(水)	同 上 (仙台会場)	2号 5 "
2月22日(土)	同 上 (札幌会場)	2号 5 "
2月27日(金)	西部支部研究発表会	1号 6 "
2月17日(木)	日本工学会第8回見学会	2号 6 "
3月5日(木)~6日(金)	関西支部「建設工事と高分子材料講習会」	1号 4 "
3月13日(金)	内外研究連絡体制検討のためのシンポジウム	2号 8 "
3月27日(火)	東北支部昭和38年度技術研究発表会	2号 6 "
3月26日(木)~27日(金)	例題による水理公式集解説講習会 (申込締切3月10日・関西支部)	2号 7 "
3月30日(月)~31日(火)	土と基礎の調査と計測に関する講習会	2号 8 "
3月31日(火)	第9回国際海岸工学会議要旨締切	2号 5 "
3月31日(火)	第3回地界地震工学会議要旨締切	2号 3 "
3月31日(火)	39年度論文集予約申込締切	2号 1 "
そ の 他	土木工学ハンドブック会員予約特価締切について	2号 3 "
	トンネル標準示方書制定について	2号 4 "
	創立50周年記念事業計画のお知らせ	2号 9 "

39年度論文集予約申込みについて

39年度論文集(39年4月~40年3月まで)の予約申込みを行ないますので、ご希望の方は年間会費600円(外国会員US\$4)を本誌綴込みの振替用紙をご利用のうえ3月31日までにお申込み下さい。なお、39年度より論文集の予約受付けは今回だけです。従来講読しておられる方ももれないようにご注意ください。

会費お払込みについてのお願い

本学会は来る11月に創立50周年を迎えることになり、現在いろいろの記念事業の準備がすすめられております。学会の一般事業とともにこれらの記念事業を円滑に行なうためには予算に見合う収入が得られてはじめて達成されますので、38年度会費未納のかた、あるいは39年度会費をお払込みいただけるかたは本誌綴込みの振替用紙をご利用のうえ、ご送金下さい。

RILEM シンポジウム開催について

1964年2月アメリカのフィラデルフィアにおいて「原子物理学の材料試験への応用」と題するシンポジウムが開催されます。このシンポジウムはA.S.T.M.(American Society for Testing Metriale)との共催で、その内容はMaterials Research and Standardsの10月号に掲載されておりますので、この件に関して興味ある方は下記へご連絡下さい。

連絡場所：東京都新宿区百人町4-391 電(362)5497 建設省建築研究所長 平賀謙一氏宛

第50回通常総会および第19回年次学術講演会

昭和39年度通常総会（第50回）および第19回年次学術講演会はつぎの日程により仙台市で開催いたします。なお、年次学術講演会は従来の方法では質疑討論の時間がほとんどなく、この時間をよけいに持ちたいとの会員の希望も多いので、学術講演連絡委員会等において協議した結果一部変更になりますのでご注意ください。

項 目	月 日	時 間	場 所
通 常 総 会	39年5月29日(金)	13:00~16:00	未 定
總 合 講 演	5月30日(土)	9:00~12:00	東 北 大 学
年 次 学 術 講 演 会	5月30日(土)	13:00~17:00	"
"	5月31日(日)	9:00~17:00	"
懇 親 会	5月30日(土)	18:00~20:00	未 定
見 学 会	6月1日(月) 6月2日(火)		"

総会、懇親会、見学会、講演概要などの申込み方法は追ってプログラムでお知らせいたします。年次学術講演会に講演希望の方はつぎの要領をご覧のうえ、昭和39年2月15日(土)までに各支部あてお申込み下さい。

I. 学術講演会実施要領

- 講演応募の要領は、期日の点を除いて例年のとおりとする。
- 講演発表の要領は4)項に記す部門を除き例年のとおりとする。
- 特に基礎的分野に属する講演の発表は同一種類のもの数編ずつを、学会の委嘱した一般報告者が総括して行ない、その報告の後に質疑討論の時間を設ける。質疑討論の応答には各著者が当る。

なお、一般報告がすむまで著者はその場をはなれられない。

- 一般報告を行なう部門はつぎのとおりとする。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| (I) 構造力学 | } などの一部または全部を予定している。 |
| (II) 水理学、水文学、河川工学、港湾工学 | |
| (III) 土質力学 | |

(これらの部門に属する講演概要の記述にあたっては、一般報告者がこの概要にもとづいて報告することを考え、必ずそれぞれの研究の考え方と結論をわかりやすく記すこと)

- 参加者にはあらかじめ講演概要集を郵送する。質疑討論を行なうことを希望する者は原則として指定された用紙によって所定の期日までに学会に申込み。申込みれた質疑討論の内容はあらかじめ各著者に回付する。時間に余裕がある場合に限り講演会場で質疑討論の申込みを受付けることもある。
- この方法を実施するため、締切り期限を厳守されたい。

II. 学術講演会申込要領

- 講演申込方法；講演希望者は申込カード(4枚複写綴、第1枚目は所属支部の控え、第2枚目、第3枚目



(土木学会東北支部提供)

蔵 王 山

宮城、山形両県にまたがる火山群で、主峰熊野岳は標高1841mを有し奥羽山脈中の代表的な山である。ふつう、登山やスキーの対象となる北蔵王と南蔵王にわかれる。北蔵王は五色岳(1674m)の中央火口岳御釜と呼ばれる五色沼や蔵王沼の火口湖を囲んだ熊野岳、刈田岳(1759m)などが外輪山を形成する複式火山をなす。噴火の歴史は新しく1624年以後である。南蔵王は馬神岳、入道山を中央火口丘とし、後鳥帽子(1666m)、屏風岳(1817m)、不忘山(1705m)を外輪山とする古い火山である。冬季のみごとな樹氷で知られ、優秀な雪質と豊富な積雪を有し、絶好のスキー場となっている。

(平凡社国民百科辞典より)

は大会係用、第4枚目は講演者の控え)に部門、題目、スライドの有無、勤務先、会員種別、学位、氏名(連名の時は講演者に○印をつける)、卒業学校名および年次、連絡先を明記のうえ**2月15日(土)**までに所属支部へお申込み下さい(関東支部は本部)。申込カードは各支部へ請求して下さい。各支部では講演申込カード(1題につき2枚)をまとめて(仙台市北三番町124、東北地建企画室、土木学会東北支部)土木学会大会係までただちにお送り下さい。

- 2) 講演内容; 講演は未発表のもので原則として1人1題にかぎります。
- 3) 講演時間; 一般報告による前記部門以外の講演時間は15分とし、数編の講演後にまとめて討議時間を設けます。
- 4) 講演部門; 講演部門は原則として、土木学会論文集委員会の部会の分類による予定ですから、ご希望の部門をお知らせ下さい。なお都合により部門を講演者の了承を得たうえで変更することがあります。
 - 第1部門; 応用力学, 構造力学, 橋梁等
 - 第2部門; 水理学, 水文学, 河川, 港湾, 発電水力, 衛生工学等
 - 第3部門; 土質力学, 基礎工学, 土木機械, 施工等
 - 第4部門; 鉄道, 道路, コンクリートおよび鉄筋コンクリート, 土木材料, 都市計画, 空港, 測量等
- 5) 原稿提出要領; 講演申込者にはつぎの要領で講演概要の原稿を提出していただきます。
 - (a) 講演概要は講演者の原稿をそのまま縮写し、オフセット印刷としますから、所定の用紙をご使用下さい。
 - (b) 用紙は執筆要領(原稿の書き方)とともに講演申込者に所属支部からお渡しいたします。
 - (c) 原稿は**3月15日(日)**(期限厳守)までに所属支部に必着するようお送り下さい。各支部では講演申込者の原稿をまとめて、ただちに上記土木学会東北支部大会係までお送り下さい。
 - (d) 原稿の長さは1題目について2ページ(図表, 写真とも)を原則とします。特に超過する場合(超過は2ページまでに限る)は1ページにつき2000円の製版料を申し受けます。
- 6) 講演概要; 講演者(○印)には関係部門概要1部無料、一般は有料、抜刷は講演者(○印)には20部無料、20部を越える分ならびに連名の方には実費でお領けしますから講演申込カードに超過分の希望部数をご記入下さい。
- 7) 本部ならびに各支部所在地(本号108ページ参照)

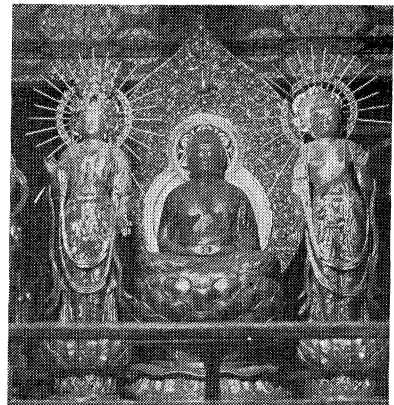
備 考;

- (a) 講演題目および著者名の申込締切期日(各支部宛): 1964年**2月15日**
- (b) 講演概要の提出締切期日(各支部宛): 1964年**3月15日**
- (c) 講演概要の参加者への発送期日: 1964年**4月30日**
- (d) 質疑討論の申込締切期日(東北支部宛): 1964年**5月15日**

中 尊 寺

岩手県西磐井郡平泉町にある天台宗の寺。平安時代末期にこの地に勢威をふるった藤原三代の初代清衡が造営した寺院である。1105年山頂に最初院(多宝寺), 2年後に大長寿院(2階大堂)が建てられ, 3丈の阿弥陀と丈六の脇侍を安置した。26年完成し, 朝廷は勅使を送って供養に参別させた。当時の願文によれば本堂, 3基の三重塔, 経蔵, 鐘楼, 大門などの堂塔があったというが, いまは当初の建物としては金色堂と経蔵を残すのみである。金色堂は主要堂宇より早く24年に上棟した。いまは覆堂の中にあるが, 正面側とも柱間3間の小規模な堂で, 内部に4本の内陣柱を立てて仏壇をおく。この堂には藤原三代の遺体がミイラとして安置されている。

(平凡社国民百科辞典より)



(土木学会東北支部提供)

土木工学ハンドブック会員予約特価締切りについて

土木学会創立 50 周年記念出版として、数箇年にわたる日時を費やして「土木工学ハンドブック」がいよいよ刊行されます（上巻は完成）。学会ではこの機会に会員に対する特別サービスとして出版社側と協議の上、＜会員予約特価期間＞を設け、39 年 1 月 31 日までの前金申込みに関し特別な扱いをいたしました。このことは、会告、出版社側よりお送りしたダイレクト・メール、会員名簿にそう入した会員特価申込書、その他により、会員各位は十分ご承知のことと存じます。このサービスはあくまでも会員だけに行なうものであり、会員外の方には適用いたしませんのでご承知下さい。

ハンドブックは予定よりやや遅れておりますが、つぎのような状況で逐次出版して参ります。価格が申込期日に応じて三段階となりますのでご注意のうえ早目にお申込み下さい。

土木工学ハンドブック刊行予定期日および価格表

区 分	判 型	ページ数	刊 行 予 定	会 員 特 価*	予 約 特 価*	定 価	備 考
				1 月 31 日まで	4 月 30 日まで	5 月 1 日以降	
上 巻	A 5	1500	1 月 31 日	7 000 円	7 500 円	8 000 円	* 前金予約申込み に限りませす
下 巻	A 5	1300	4 月 10 日	3 800 円	4 000 円	4 500 円	
全 巻	A 5	2800	4 月 10 日	3 800 円	4 000 円	4 500 円	

第 3 回世界地震工学会議開催

New Zealand で第 3 回世界地震工学会議が開催されることはすでに会告でお知らせしましたが、詳細が下記のように決定しましたので日本からも地震工学に関係深い方々の積極的な参加を希望します。

- 開催期日：1965 年 1 月 22 日（金）～2 月 1 日（月）
- プログラム：1965 年 1 月 22 日（金）～2 月 27 日（水）Auckland にて開会式、研究発表、見学等を行なう
1 月 28 日（木）Auckland から Wellington へ
1 月 29 日（金）～2 月 1 日（月）Wellington にて研究発表、閉会式、見学等を行なう
- Authors への注意：① 論文提出締切；1964 年 6 月 30 日
② 内容梗概；100 語程度
③ 論文発表形式；論文はつぎの 5 つの Session に分けられる。
 - Soil and Foundation Condition
 - Analysis of Response, Instruments
 - Seismicity, Ground Motion
 - Design
 - Recent Strong Motion Earthquakes

各 Session ごとに始め General Reporter が話し、のち各著者が順番に 10 分間だけ論文を説明する。論文が発表されたあとで General discussion が行なわれ、最後に General Reporter がとりまとめる。会議で発表されなくても、重要論文は Proceedings にはのせる。

- 会 費：① 参加費；約 79 ドル ② ホテル代；10～15 ドル/日 ③ Tours（会議後）；112～202 ドル（コースによって異なる）
- そ の 他：日本から論文提出を希望される方は 1964 年 3 月 31 日までに論文名に 1000 字程度の内容梗概を下記国内委員長宛に提出することに決められておりますので必ず期限内にご提出下さい。

東京都港区麻布新竜土町 10 東京大学生産技術研究所内
地震工学国内研究連絡委員長 岡本舜三教授

トンネル標準示方書制定について

近時土木技術の進歩発展にともない、トンネル工事についても急速な変ぼうがなされつつある現状にかんがみ、土木学会では昭和 36 年度よりトンネル工学委員会を設置し、各界の権威者の協力により、この方面の研究を進めておりますが、この委員会の活動の一端としてトンネル標準示方書の制定をこのたび完成いたしました。

本示方書は、トンネル技術に関する問題点を整理し、今後の研究の方向を定める第一歩となるばかりでなく、当面のトンネル工事の調査、設計、施工などの実施に当たってただちに役立つものであり、広く各方面のご期待に添えるものと確信いたします。

本示方書は現在印刷準備中ですが、来る 2 月下旬までは学会から発刊される予定です。

ご希望の方は下記により予約お申込下さるようご案内申し上げます。

なお、当トンネル工学委員会としては引続き同示方書の解説作成に努力を重ねておりますので、この方も、本年 7 月頃には刊行される予定でございますことを申添えます。

体 裁：A 5 判 30 ページ程度の見込み
定 価：100 円（送料 20 円）
申 込 方 法：代金を添えて学会あて 2 月中にお申込み下さい。

第 27 回関東地区学生諸君のための映画会

1. 開催日時：1964 年 2 月 15 日（土）14.30～16.00
2. 会 場：土木学会会議室（東京都新宿区四谷一丁目・外濠公園入口）
3. 上映映画：① 建設機械の取扱いと作業方法 ② 製鉄

建築鋼ぐい基礎設計施工規準講習会開催

主 催：日本建築学会・鋼材倶楽部・土質工学会 後 援：土木学会、ほか 6 団体および開催地道県市
開 催 日・開催地・会場・講師・申込場所：

開催日	開催地	会 場	講 師	申 込 先
2 月 17 日（月） 9.00～17.30	新 潟	イタリヤ軒ホール（新潟市西堀七番丁）・定員 250 名	吉成元伸・齊藤外吉・上升致行・高橋和男	日本建築学会新潟支所（新潟市六番丁 866・新潟市役所管轄課内・㉔2111）
2 月 19 日（水） 9.00～17.30	仙 台	未 定	大崎順彦・古藤田喜久雄・遠藤正明・宇井充文	日本建築学会東北支所（仙台市南六軒丁・東北大学建築学科内・㉔5111）
2 月 22 日（土） 9.00～17.30	札 幌	未 定	大崎順彦・古藤田喜久雄・遠藤正明・宇井充文	日本建築学会北海道支所（札幌市北 12 条西 8 丁目・北海道大学建築学科内・㉔2111）

内 容：設計規準・設計例・施工規準

聴 講 料：無料（ただし下記資料を必要な方は講習会出席者に限り特価 600 円で会場で頒布します）

資 料：建築鋼ぐい基礎設計施工規準・同解説（日本建築学会編 A 5 判 320 ページ定価 650 円）および各社カタログ

申 込 方 法：会場のつごうにより「はがき」あるいは電話にて 2 月 15 日までに前記申込先へ申込んで下さい。

第 9 回国際海岸工学会議開催

(9th Conference on Coastal Engineering)

先にお知らせした（本誌 48 巻 12 号 2 ページ）標記の会議はつぎの日程で行なわれますのでお知らせします。論文提出ご希望の方は下記 Council on Wave Research あて一ページ以内のアブトラクト 4 部を、また同文一部を土木学会海岸工学委員長あてに 3 月 31 日までにお送り下さい。

会 告

1. 日 程：1964年 6月 21日(日)～29日(月)
6月 21日(日) 登 記
6月 22日(月)～25日(木) 会議ならびにリスボン港視察
6月 26日(金)～29日(月) ポルトガル主要海岸工事の見学
2. 要旨送付締切：1964年 3月 31日(火)
3. ホテル予約締切：1964年 1月 30日(木)
4. 費 用：会議参加費 US 40ドル
見学会費 US 80ドル
5. そ の 他： 要旨送付先 連 絡 先
Professor J.W. Johnson Secrecariado da C.C.E.
Council on Wave Research Laboratório Nacional de
Bldg. 159, Richmond Field Station Engenharia Civil
Univcity of California Av. do Brasil, Lisbon,
Richmond, California, U.S.A. U.S.A. Portugal

日本工学会第8回見学会開催

1. 日 時：1964年 2月 27日(木) 14.00～16.00
2. 見 学 先：八幡製鉄東京研究所(川崎市井田 1618)
3. 定 員：100名 先着順に参加証をお届けします。
4. 集 合 場 所：14.00 までに上記研究所正門(東横線日吉駅・慶応と反対側に下車し、下田住宅行バスにて駒ヶ橋下車・右へ徒歩約3分)
5. 申 込 先：はがきで第8回見学申込書と書き、住所・氏名・所属学会名を記入し、2月 15日までに直接日本工学会へ申込みこと。
6. 日本工学会：東京都千代田区神田佐久間町 1-11 TEL 251-4358

東北支部行事案内

(仙台市北三番丁 124 東北地方建設局企画室内・電話 仙台 ☎ 4 1 9 1 番)

(1) 昭和 38 年度技術研究発表会

1. 日 時：1964年 3月 17日(火) 9.00～17.00
2. 場 所：仙台市(駅前) 日立ファミリーセンター
3. 参 加 者：土木学会会員および一般技術者とし、発表者、聴講者あわせて 130名程度とする。
4. 参 加 料：無 料
5. 研究発表：論 題 自 由 講演時間 30分以内
6. 講演概要：400字詰原稿用紙 15枚以内発表、希望者は論文を2月 15日までに土木学会東北支部へ提出すること、説明用図表等は発表会当日持参すること。
7. 論 文：論文は一括集録し「昭和 38 年度技術研究発表会講演集」と印刷して参加者に無償交付する。
8. そ の 他：発表者には記念品を贈呈する。

(2) 技 術 講 座

1. 日 時：1964年 3月下旬 9.00～16.00
2. 場 所：仙台市(会場未定)
3. 参 加 者：土木学会会員および一般技術者 130名
4. 参 加 料：無 料
5. テキスト：実 費
6. 題 目：最近の基礎工法
7. 講 師：未 定

中国四国支部第4回講演会

1. 開催日時：1964年2月7日(金) 9.00~17.00

2. 会場：香川県農協会館ホール(高松市寿町1)

3. 題目および講師：

- | | | |
|------------------------------|---------------|-------|
| ① 黒四ダムの基礎処理について | 八千代エンジニアリングKK | 高野 稔 |
| ② 四国土讃線における地すべりと対策 | 国鉄四国支社 | 河野 敏夫 |
| ③ アメリカにおける最近の構造工学と橋梁について | 建設省土木研究所 | 中村 正平 |
| ④ 構造力学・構造工学における電子計算機の効用 | 名古屋大学 | 成岡 昌夫 |
| ⑤ 映画大いなる黒部(イーストマンカラーシネマスコープ) | | |

4. 参加料：無 料

5. その他：詳細は下記へご連絡下さい。

高松市松島町 574 四国地方建設局企画室

関西支部行事案内

(大阪市天王寺区堀越町 110 番地 天王寺ステーションビル 4階)
 (電 大阪 (716) 7881 番 内線 336 番 振替口座大阪 82599 番)

(1) 例題による水理公式集解説講習会

水理公式集がこのたび増補改訂されましたので、この機会に主として例題、実例によって比較的多くそう遇する問題、間違いやすい問題を説明し、また同じ問題に対する2以上の公式の比較ないし、その適用範囲などを明らかにするための解説講習会を下記のとおり開催しますからふるって多数のご参加をお待ちしています。

記

1. 日 時：1964年3月26日(木)、27日(金)の両日 9.00~16.30

2. 場 所：大阪府職員会館2階大講堂 電 大阪 (941) 0351 番 大阪市東区大手前之町 大阪府庁本館西裏

3. 講師と担当事項：

第1日(3月26日)

河 川 編

- | 時分 | 時分 | | | | |
|---------------|---------------------------|-------------------------------|--------------|----------|--|
| ① 9.10~9.50 | [1] 平均流速 [2] 流量測定・発電水力編 | [1] 管路の損失水頭 [2] 管路の損失および水面低下量 | 名古屋大学工学部教授 | 工博 足立 昭平 | |
| ② 9.50~10.30 | [3] 河川流出 | | 京都大学防災研究所教授 | 工博 石原 安雄 | |
| ③ 10.40~11.20 | [4] 不等流(背水) [3] 不定流・発電水力編 | [5] せきと越流頂 | 京都大学工学部助教授 | 工博 岩佐 義朗 | |
| ④ 11.20~12.00 | [6] 流 砂 | | 京都大学防災研究所助教授 | 工博 芦田 和男 | |
| ⑤ 13.00~13.40 | [7] 堤防およびアースダムの浸潤・上下水道編 | [1] 地下水 | 京都大学工学部教授 | 工博 赤井 浩一 | |

発 電 水 力 編

- | | | | | | |
|---------------|-----------------------------------|--|----------------------|----------|--|
| ⑥ 13.40~14.20 | [4] ゲートおよびバルブ [5] 急こう配水路の流れ | | 東京大学工学部教授 | 工博 嶋 祐之 | |
| ⑦ 14.30~15.10 | [6] 跳水と減水 | | 建設省土木研究所ダム水理研究室主任研究員 | 中川 博次 | |
| ⑧ 15.00~15.50 | [7] 開水路のサージング [8] 水撃作用 [9] サージタンク | | 中央大学工学部教授 | 工博 林 泰造 | |
| ⑨ 15.50~16.30 | [10] 水力機械 [11] 地震時動水圧、揚圧力 | | 電力中央研究所技術研究所 | 工博 千秋 信一 | |

第2日(3月27日)

上 下 水 道 編

- | | | | | | |
|---------------|---------------------------------------|--|-----------------|----------|--|
| ⑩ 9.10~9.50 | [2] 管路 [3] 流量計およびポンプ | | 大阪市水道局工務課長 | 長 田 新平 | |
| ⑪ 9.50~10.30 | [4] 浄水 [5] 雨水流出力 [6] 下水路の水理 | | 京都大学工学部教授 | 工博 合 田 健 | |
| ⑫ 10.40~11.20 | [8] 汚 泥 | | 大阪工業大学教授 | 工博 川 島 普 | |
| ⑬ 11.20~12.00 | [7] 生物化学処理の水理 [8] 汚泥 [9] 河川および海岸の自浄作用 | | 建築省土木研究所下水道研究室長 | 杉 木 昭典 | |

港 湾 お よ び 海 岸 編

- | | | | | | |
|---------------|--|--|------------------|------------|--|
| ⑭ 13.00~13.40 | [1] 表面波 [2] 波の変形 | | 京都大学防災研究所教授 | 工博 岩 垣 雄一 | |
| ⑮ 13.40~14.20 | [3] 風波の発達 [4] の一部 | | 運輸省港湾技術研究所設計基準部長 | 工博 井 島 武 延 | |
| ⑯ 14.30~15.10 | [4] 波圧および波のうねあげ | | 建設省土木研究所河川部長 | 工博 細 井 正 延 | |
| ⑰ 15.10~16.30 | [5] 漂 砂 | | 名古屋大学工学部助教授 | 工博 榎 木 亨 | |
| ⑱ 15.50~16.30 | [6] 潮汐およびその他の長波 [7] 津波および高潮 [8] 河口密度流およびその他の流れ | | 大阪大学工学部助教授 | 工博 室 田 明 | |

4. 定 員：400 名

5. 参 加 費：700 円(例題集代を含む)

6. 申込期限：1964年3月10日（火）
7. 申込方法：参加希望者は勤務先および氏名を明記のうえ、参加費 700 円（送金は振替口座利用）を添えて 3月10日（火）までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。ただし申込み期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申し込んで下さい。
- 参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。参加証のない人は入場をお断りします。
8. その他：例題集のみの希望者には一部 500 円（送料は追って学会誌に広告）でお頒ちします。
- （参考資料）昭和 38 年増補改訂版水理公式集をご持参下さい。定価：1400 円 会員特価 1100 円 送料 150 円
- 東京都新宿区四谷 1 丁目 社団法人土木学会（振替口座東京 16828 番）にて購入して下さい。

（2）土と基礎の調査と計測に関する講習会

主催 土質工学会関西支部・協賛 日本建築学会近畿支部・土木学会関西支部

申込先：土質工学会関西支部 大阪市都島区東野田 9 丁目 大阪大学工学部構築工学教室内
電 大阪 (351) 6351 番 内線 226 番

1. 日 時：1964年3月30日（月）、31日（火）の両日 9.30～17.00
2. 場 所：大阪大学工学部 大阪市都島区東野田 9 丁目 市電東野田または国電京橋下車、電、大阪 (351) 6351 番 内線 226 番

3. 題目と講師：

第 1 日（3月30日）

第 2 日（3月31日）

時 分 時 分

- | | | | | | |
|---------------|--------------|-----------|---------------|------------------|----------|
| ① 9.40～10.04 | サンプリングと原位置試験 | 阪市大 竹中準之介 | ④ 9.40～10.40 | 載荷試験 | 京大 柴田 徹 |
| ② 10.50～11.50 | 地下探査 | 阪工大 佐々 憲三 | ⑤ 10.50～11.50 | 基礎工事における応用・ヒズミ測定 | 京大 後藤 尚男 |
| ③ 13.00～14.00 | 土圧・間ゲキ水圧測定 | 名大 市原 松平 | ⑥ 13.00～14.00 | 地盤振動の測定 | 神大 畑中 元弘 |
| 14.10～17.00 | 上記各題目の実演 | | 14.10～17.00 | 上記各項目の実演 | |

4. 展 示 会：2 日間にわたり測定機器その他の展示を会場で行ないます

5. 定 員：300 名

6. 参 加 費：1000 円（テキスト代を含む）

7. 申込期限：1964年3月21日（土）

8. 申込方法：受講希望者は氏名、連絡先を明記し参加費 1000 円を添えて 3月21日（土）までに下記宛お申し込み下さい。

申込先：大阪市都島区東野田 9 丁目 大阪大学工学部構築工学教室内 土質工学会関西支部
電 大阪 (351) 6351 番 内線 226 番

（3）応力測定展示講習会（1964年2月14日（金）～15日（土）大阪府立工業奨励館）

（4）講習会「建設工事と高分子材料」（1964年3月5日（木）～6日（金）大阪府職員会館）

内外研究連絡体制検討のためのシンポジウム

— 材料および試験に関する国際会議に出席して —

- 主 催：日本学術会議材料試験研究連絡委員会
- 日 時：1964年3月13日（金） 10.00～16.00
- 会 場：日本学術会議講堂（東京都台東区上野公園内）

プ ロ グ ラ ム

- | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|---------|
| 開 会 の 辞 | 日本学術会議材料試験研究連絡委員会 委員長 京都大学工学部名誉教授 | 西 原 利 夫 |
| 午前部 | | |
| ① 国際クリープ合同会議に出席して | 東京工業大学教授 | 未 沢 慶 忠 |
| ② 国際クリープ合同会議に出席して | 京都大学工学部教授 | 平 修 二 |
| ③ 組織と性質との国際会議に出席して | 東北大学金属材料研究所教授 | 幸 田 成 康 |
| 午後部 | | |
| ④ 熱帯国における建築材料会議に出席して | 東京大学工学部助教授 | 岸 谷 孝 一 |
| ⑤ 第 4 回国際レオロジー会議 | 京都大学工学部教授 | 堀 尾 正 雄 |
| ⑥ 第 4 回国際非破壊試験会議 | 東京大学工学部教授 | 木 原 博 |
| ⑦ 討議 材料および試験に関する国内と国際研究連絡体制のあり方 | | |

創立 50 周年記念事業計画のお知らせ

社団法人 土 木 学 会

今年は東京オリンピックの年ではありますが、わが土木学会にとっても記念すべき年でもあります。すなわち土木学会が、大正 3 年 11 月日本工学会から分離独立してから 50 周年を迎えることになりました。

学会ではこの記念すべき年を迎えるために、昭和 36 年夏頃から準備委員会を設けて検討にかかったのであります。36 年 9 月記念事業委員会が発足し、その中の常任委員会が記念事業全体の計画をし、それにしたがって、つぎの 4 委員会が順次設けられたのであります。

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 総務委員会 (募金, 表彰, 経理) | 委員長 永田年 |
| 2. 行事委員会 (式典, 祝賀会, 講演会, 見学会, 展示会等) | 委員長 田中茂美 |
| 3. 記念出版委員会 (記念出版物 8) | 委員長 佐藤寛政 |
| 4. 会館建設委員会 (会館の建設) | 委員長 金子源一郎 |

会館については用地問題が難行して、なかなか進展を見ませんでした。何回か検討をくり返したのち、土木図書館を現在の学会の敷地内に建設し、数十年間に集積した貴重な図書を、今後累増する図書とともに整備し、広く一般の利用に供することにいたしました。

この 4 つの委員会がたびたび会合して審議の結果、その全貌はつぎのとおりであります。会員の皆様、この記念すべき学会 50 周年を意義あらしむるため、これらの計画に対し全幅のご賛同、ご支援を賜わるよう念願する次第であります。

記念事業資金として 70 000 千円を要しますが、広く関係の向きの浄財によらなければならないのでありますので、正会員並びに特別会員におかれても応分のご拠出を頂きたくその詳細については改めてお願いする予定であります。あらかじめご諒承をお願いする次第であります。

土木学会創立 50 周年記念事業概要

- | | |
|--|-----------|
| 1. 土木図書館関係 | 50 000 千円 |
| 2 階建 1 階 266 m ² 書庫, 閲覧室 | |
| 2 階 336 m ² 講堂, 閲覧室 | |
| 2. 記念行事関係 | 4 800 千円 |
| 記念式典 39. 11. 6 (金) 上野文化会館 | |
| 祝賀会 同日 上野精養軒 | |
| 講演会 39. 11. 7 (土) 上野文化会館 | |
| 見学会 a 班 東京都内 11.8 (日) | |
| b 班 東海道見学バス旅行 11.9~10 (火) | |
| 国土開発映画コンクール 16 mm カラー | |
| 巡回映画会 (講演を加えて) 全国主要都市 | |
| 3. 記念出版物刊行費 | 12 500 千円 |
| 土木工学ハンドブック, 大正以降日本土木史 (大正元年~昭和 14 年まで) | |
| 土木用語辞典, 建設/創造/技術 (写真集) | |
| 土木学会 50 周年略史, 日本土木技術発展のあゆみ, 学会誌・論文集総索引, 土木学会誌記念特集号 | |
| 4. 諸準備費 | 2 700 千円 |
| 案内状, 委員会費, 募金費 | |
| 合 計 | 70 000 千円 |